

食中毒と腸管感染症

病原体が腸管内で増殖して下痢、その他の症状を起こす感染症。主に以下のような疾患が含まれる。

選択 ↓	国立感染症研究所ウェブサイ トに掲載されている疾患名	原因微生物			(細菌の場合) 感染源としての宿主・生息域				備考	
		細菌	菌名	感染型/ 毒素型	水系・水生動物		土壌・植 物	陸生動物		
					海水(河 口付近含 む)	淡水		主にヒト (ほかに サル、マ ウス等)		食料生産 動物の感 染・保菌
	NAGビブリオ感染症	○	<i>Vibrio cholerae</i> の うちO1型以外の nonagglutinable vibrios	感染	○					
	アデノウイルス感染症	×								
	アメーバ赤痢	×								
○	ウエルシュ菌感染症	○	<i>Clostridium perfringens</i>	中間型又 は感染型			○	○	○	ヒトや動物の大腸内常 在菌。土壌に広く分布。
○	エルシニア感染症	○	<i>Yersinia enterocolitica</i> , <i>Y. pseudotuberculosi s</i>	感染		○(汚染)			○	<i>P. pseudotuberculosis</i> は国内で豚からの検出 及び市販豚肉の汚染が 報告。
	エロモナス・ハイドロフィラ	○	<i>Aeromonas hydrophila</i>	感染		○				
	感染性胃腸炎	※原因微生物が定義されていない								
○	カンピロバクター感染症	○	主に <i>Campylobacter jejuni</i> , <i>C. coli</i>	感染		○(汚染)			○	牛、羊、野鳥及び鶏等 の家禽類の腸管内に保 菌。 <i>C. coli</i> は豚での保 菌率が極めて高い。
	クリプトスポリジウム症	×								
○	下痢原性大腸菌感染症	○	EPEC, EIEC, ETEC, EAEC	感染		○(汚染)			○	多くの血清型は健康の な牛や豚の糞便中にみ られる。
	コレラ	○	<i>Vibrio cholerae</i> O1 及びO139 型の うちコレラ毒素産生 性の菌	感染	○	○				
	細菌性赤痢	○	<i>S. dysenteriae</i> , <i>S. flexneri</i> , <i>S. sonnei</i>	感染		○		○		
○	サルモネラ感染症	○	<i>S. Typhi</i> , <i>S. Paratyphi-A</i> 以外。 <i>S. Enteritidis</i> , <i>S. Typhimurium</i> , <i>S. Oranienburg</i> 等	感染		○(汚染)			○	家畜(牛、豚、鶏)の腸 管内に常在菌として保 菌。
	ジアルジア症	×								
	セレウス菌感染症	○	<i>Bacillus cereus</i>	中間			○	？(糞便 から検出 はされる が定着不 明)	？(糞便 から検出 はされる が定着不 明)	土壌などを中心に自然 環境に広く分布。食肉・ 肉製品、牛乳・乳製品か らの分離は二次汚染に よる。
	ソブリア感染症	○	<i>Aeromonas sobria</i>	感染		○				
	腸炎ビブリオ感染症	○	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	感染	○					
○	腸管出血性大腸菌感染症	○	EHEC	感染		○(汚染)			○	牛はSTECの保菌動物 とみなされる。
	腸チフス・パラチフス	○	<i>Salmonella Typhi</i> , <i>S. Paratyphi-A</i>	感染				○		
	トキソプラズマ症	×								
	ノロウイルス感染症	×								
	ビブリオ・フルビアリス/ファ ーニシ感染症	○	<i>Vibrio fluvialis</i> , <i>V. furnissii</i>	感染	○					
○	ブドウ球菌食中毒	○	<i>Staphylococcus aureus</i>	エンテロト キシンに よる毒素 型、それ 以外の感 染型				○	○	ヒトを取り巻く環境や各 種の哺乳動物、鳥類等 に広く分布。
	プレシオモナスシゲロイデス感 染症	○	<i>Plesiomonas shigellosis</i>	感染		○				

【参照】

国立感染症研究所. 食中毒と腸管感染症. <https://www.niid.go.jp/niid/ja/route/intestinal.html>.

坂崎利一編. 新訂 水系感染症と細菌性食中毒. 中央法規出版. 2000.